

小川晴陽 （あきひら） 寫道家。明治二十七年二月七日兵庫縣生乳、昭和二十五年二月十八日歿（八四—九六）。本名晴一。丸木利陽の學んだ。大正七年大阪朝日新聞社寫眞部勤務。十一年退社して奈良の飛鳥園を創設、古寺、佛像の撮影に従事。昭和四年雑誌『東洋美術』創刊。雲崗石窟等の撮影にも當つた。

著書に『大同の石佛』（昭和十六年十一月）『大アルス』『アルス文化叢書』（一）、『正倉院』（昭和二十一年十月）『大アルス』、『高桐書院』（『正倉院』（昭和二十一年十月）『大アルス』）『昭和美術叢書』（昭和二十六年十月）『昭和美術叢書』、『昭和美術叢書』（昭和二十六年十月）『昭和美術叢書』等。

